

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	伊賀マツタケ十字軍里山再生事業
対象地域	伊賀市
活動概要	<p>伊賀市は三重県の北西部に位置し、北は滋賀県、西は京都府、奈良県と接している。地形は北東部を鈴鹿山系、南西部は大和高原、南東部を布引山系に囲まれた盆地を形成しており、低地・台地は少なく、丘陵地が多くなっている。東西約30キロメートル、南北約40キロメートルの縦長で、面積は約558平方キロメートルになり、その約62%を森林が占めている。</p> <p>現在、全国的に多くの森林が国産木材需要の停滞や林業経営の悪化と後継者不足などにより、手入れがされずに放置されたままになっている。</p> <p>伊賀市内の里山においてもその多くが手入れもされずに放置され荒れた状態になっている。そのため、昔は秋になれば里山に自生していたマツタケも現在ではほとんど見られなくなった。</p> <p>このため、伊賀森林組合が設立したボランティア団体「伊賀マツタケ十字軍」の活動によって、失われた里山の機能回復に取り組み、マツタケが採れる里山の再生を目指す。</p>
今年度の主な取組	<p>ボランティア団体「伊賀マツタケ十字軍」が様々な主体と連携・協働しながら、次の事業を行う。</p> <p>①伊賀市玉瀧にある国有林の里山(約165ha)のうち25haを活動フィールドとしてマツタケ十字軍により、日光が地面に届くよう下刈や間伐等を実施するとともに、余分な落ち葉等を除去するなどの林内清掃と枯松が多い所は赤松の植林を、定期活動(月1回)と自主活動により行い、マツタケが自生していた昔の環境を再生しマツタケ山を復活させる。</p> <p>②チラシ作成やフォーラムの開催により、広く市民や企業等に活動内容を周知し参加を呼びかけ、里山の環境整備を促進するとともに、市民等の森林への関心や森林整備に対する意識の向上を図る。</p> <p>③整備されたフィールドを展示林とし、地域の森林所有者等に公開することで里山整備についての意義を認識してもらい意識向上に努め、波及効果として事業地以外の里山でも整備に取り組むよう働きかける。</p>

活動結果	<p>枯松と細い雑木を伐採、笹を刈り、林内集積及び搬出を行った結果見違える様な状態になった。又、林内歩道を付けたことにより山林内を散策できるようになったが、国有林である為、山に入るのに許可がいる。</p> <p>枯松を、伐採、搬出をしても、枯松の進行を止めることが出来ず、このままでは、アカマツが全滅してしまい、マツタケのシロがなくなることとなる。アカマツの苗木を植栽したが、成木になるまでには年数がかかり、その間、シロが持つ課題。</p> <p>小学校の6年生に卒業記念の植栽をお願いした所、引受けていただき植栽を行った。子供たちにとっては、山に入ることも、アカマツの苗を植えることも初めての経験であった。</p> <p>参加した子供たちに感想を聞いてみると、綺麗に整備された山であれば山に入ることも、作業をする事も、怖くなく楽しみであったと答えてくれた子供が多かったことに驚かされた。子供たちが植えた木が大きくなった姿を見に来たい、と言って喜んでおり、良い卒業記念の一部になったことと感じている。</p>
当初予想していなかった効果	<p>阿山の河合小学校に卒業記念のアカマツ苗の植樹をして頂けないかお願いしたところ引受けていただき、3月16日に6年生47名による卒業記念植樹を行なうことが出来た。今後、阿山地区の4小学校持ち回りで行うことで、地区の親にも関心が持ってもらえる。</p> <p>また、整備されて綺麗になった山では、子供たちも怖がらずに山に入り植林をすることができた。</p> <p>会員の中には自分でも時間をかければ、里山の整備が出来ることを理解し、実際に個別で作業を始めた人が出てきた。</p>
実施状況(写真)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲里山整備</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲小学生による卒業記念植樹</p> </div> </div>
応募団体名	伊賀マツタケ十字軍
リンク	
部局/担当者名	伊賀森林組合 業務課 井上 大士
連絡先	(0595)24-4884
推薦市町村名	三重県伊賀市